

18. 症状および兆候

文献

中北充子, 竹ノ上ケイ子. 正常な産後経過をたどる母親への背部マッサージによるリラクゼーション効果. 日本助産学会誌 2009; 22(3): 362. 医中誌 web ID 2009204026

1. 目的

背部マッサージの産後母親のリラクゼーションに及ぼす効果の評価

2. 研究デザイン

準ランダム化比較試験 (quasi-RCT)

3. セッティング

産婦人科 (施設数は記載なし)

4. 参加者

正常な産後3日目の褥婦45人

5. 介入

Arm1 : 20分の背部オイル (無臭) を使用したマッサージ群 22人

Arm2 : コントロール群 (20分の安静臥位) 23人

年齢、所要時間、出血量、諸経産、会陰切開の有無、児の出生時体重は2群間で有意差なし。会陰裂傷において有意差をもって対象群が多い。

6. 主なアウトカム評価項目

心拍数及び周波数解析

7. 主な結果

心拍数の前後差は両群とも有意な減少が認められた。周波数解析において変動の確認はできたが有意な変化は認められなかった。

8. 結論

心拍数及び周波数解析をリラクゼーションの指標とすると、背部マッサージは産後の母親に効果はない。

9. 論文中の安全性評価

記載なし。

10. Abstractor のコメント

産後の母親の身体精神状態を良好に保つことは良い母子関係の構築に必要であり、そのための援助方法の評価は大変重要である。今回リラクゼーションの指標として採用した自律神経機能の一表現である心拍数は、その変動に様々な因子が係わるため、慎重な環境作りが必要となる。リラクゼーションの指標として自覚的感覚、脳波、その他、アウトカムに用いた評価が望まれる。

11. Abstractor and date

徳竹忠司 2011.3.18